

アキュラグループ 5年連続グッドデザイン賞受賞 木を活かすデザインと技術力、合理化へのあくなき追求が高評価 「普及型中大規模木造オフィス」「住宅建築資材の新配送システム」の2提案



**GOOD DESIGN
AWARD 2016**

木造注文住宅の株式会社アキュラホーム（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：宮沢俊哉）とグループ会社の株式会社ハウスロジコム（本社：東京都新宿区、代表取締役：井草健二）は、「中大規模木造建築普及プロトタイプ」、「在来木造ジャストイン配送システム」の2提案が、2016年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しました。アキュラグループによるグッドデザイン賞受賞は、今回で5年連続、16作品となりました。

今回、受賞した1つ目の作品である「中大規模木造建築普及プロトタイプ」は、埼玉県熊谷市にアキュラホーム埼玉北支店3階建てオフィス棟として建築したものです。木造注文住宅で培ったノウハウを中大規模木造建築によるオフィス・店舗など、非住宅分野に展開する新たな活動と言えます。製材調達の困難さ、施工の高難易度などの課題に対し、一般流通構造材料と住宅用木材プレカット加工技術を採用することでこれらを克服。さらにはコストを格段に抑え、普及価格帯での建築を実現しました。



中大規模木造建築普及プロトタイプ内観

2つ目の受賞作品「在来木造ジャストイン配送システム」は「ビジネスモデル」カテゴリでの受賞となります。アキュラホームでは10年以上にわたり建築資材の配送システム改革に取り組み、配送センターの設置、効率化を図りながら建築現場の末端に至るまで徹底的なシステム化を進めてきました。これを推進するために今春に立ち上げたグループ会社ハウスロジコムにより、全国展開に向けて取り組んでいます。



在来木造ジャストイン配送システム

<本件について報道関係からの問い合わせ先>

株式会社 アキュラホーム 広報課 堀越・西口 Email: aqura_pr@aqura.co.jp

住所：東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 34F TEL:03-6302-5010(直通) FAX:03-5909-5570

●写真データは右記よりダウンロードすることができます。<http://www.aqura.co.jp/news.html>

アキュラホーム：<http://www.aqura.co.jp> ハウスロジコム：<http://www.house-logicom.co.jp>

— 2つの受賞作品概要 —

1. 「中大規模木造建築普及プロトタイプ」 受賞カテゴリー：業務用の建築・施設

～木造に強い工務店が中大規模木造事務所建築への参画が可能に～

「中大規模木造建築普及プロトタイプ」は、シザーストラスアーチによる、間口16m、奥行き6m、高さ9.7mの大空間を実現した3層構造の中大規模木造建築物です。学識者、地場ゼネコン、鉄工所、板金職人、プレカット会社などの協力者とのコラボレーションによりこれを実現しています。基本的に一般流通木材、一般加工技術を用いるため、建築コストの適正化を促進して広く普及を可能としています。国産木材の活用による森林資源の活性化と住宅に限定されていた工務店参画の可能性を広げています。大工の仕事・活動領域が広がることで、高齢化により激減する大工人口の改善にもつながると考えます。

◆「日本の住まいを安くする」ミッションを中大規模木造オフィス建築にも

アキュラグループでは、「日本の住まいを安くする」をミッションとして、豊かな暮らしを実現する住まいをより安く提供することでお客さまの評価を得てきました。この度のグッドデザイン賞受賞を機に、今後は中大規模オフィスや店舗の建築においても、普及価格での展開を目指してまいります。

◆グッドデザイン賞審査員の評価

「木造軸組工法でありながら、シザーストラスアーチを用いた大変印象的な架構を形成している。しかも、木の温かみがあり、なおかつ大きな開口部による明るい空間は、オフィスにとどまらず、店舗などあらゆる用途で使用可能な構造であり、今後に大きな可能性を感じる」

2. 「在来木造ジャストイン配送システム」 受賞カテゴリー：ビジネスモデル

～現場での作業効率を追求した画期的な仕組みづくり～

作業の多い建築現場では、資材の荷解きや片付けなどの簡単な仕事に時間を多く要し、結果、大工の手間賃が増えることで建築費全体に影響するという問題があります。これを解決するために、必要なときに、必要なものを、必要な状態で届け、不要になったものは即座に回収することで、大工の作業効率を大幅に向上させるとともに、ミスやロスを無くして品質も高める「在来木造ジャストイン配送システム」が開発されました。今後アキュラホームが主宰する全国工務店ネットワーク「ジャブネット」への展開も視野に、在来木造の現場品質の向上とコストダウンに寄与するものと考えます。

◆業界にとっても消費者にとってもプラスに

具体的には、建築現場に資材を届ける前に配送センターで大量の梱包を開封し、カット、組み立てまで行って計画的に配送します。その結果、資材の紛失や損失などのトラブルを軽減し、作業効率が高まり、大幅な工期短縮やコストダウンを実現します。建築現場の精度向上につながるとともに、消費者にとってはより品質の高い住宅を安価にお届けできるようになります。

◆グッドデザイン賞審査員の評価

「建築現場に届ける資材を効率的に配送する仕組みは、非常にシンプルなコンセプトであるが、現場における課題を現実的に解決するもので、メリットが非常に分かりやすい。徹底したムダの削減に取り組み、大工の作業時間短縮やコストダウンを実現するなど、実績が具体的である点も評価した。こうした取り組みが業界全体に普及することで、費用削減だけでなく環境への配慮および建築現場での効率的な業務遂行が期待される」

グッドデザイン賞受賞実績

- 2015年： 「JAHBnet(ジャーブネット) 全国工務店の相互支援ネットワーク」
全国250社の工務店による相互支援ネットワーク
未来づくりデザイン賞(経済産業省商務情報政策局長賞)受賞
「AQレジデンス 瀬田モデル」
都市に暮らす夫婦が住みごたえを追及し住みこなしていく住まい
「AQレジデンス ニーズを充足する選択的住宅建築」
施主のニーズを選択的に決定するフローを採用したビジネスモデル
- 2014年： 「住みごこちのいい家～暮らしを豊かにするソリューション～」
生活者の価値を最大化する商品開発システム
「顧客と育つナレッジネットワークー永代ビルダー塾ー」
約320社の工務店の活動をネットワーク化
- 2013年： 「リーディングプロジェクト」 顧客を守るセーフティネット
「リリーフ住宅」 未来の住宅価値創造
- 2012年： 「木望の未来プロジェクト」 工務店によるCSR活動
「木和美(きわみ)」「LCCM」 地域に適合した先進的エコ住宅を建築可能にするシステム
- 2010年： 「アキュラシステム」
地域工務店による家づくりを適正価格で実現する工務店経営支援システム
- 2008年： 「オプティス・サステイナブル」
新築住宅における価値持続の仕組みと暮らし方をサポートする様々なサービスメニューの構築
「JAHBnet・リノベーションデザインプロジェクト」
地域工務店と住まい手、職人との新たな連携によって既存住宅の価値を再創造する仕組み
- 2006年： 「ガラスウォール(耐力壁)」 大空間・大開口ニーズに対応できる、光が通り抜ける耐力壁
- 2005年： 「匠階段」 伝統工法の木組みの技術を再現して木だけで組まれた階段



GOOD
DESIGN
AWARD
2016

グッドデザイン賞は、1957年にスタートした日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。日本の産業や生活文化を向上させる運動として展開されて国内外の多くの企業や団体が参加しています。グッドデザイン賞公式WEBサイト：<http://www.g-mark.org/>

<アキュラホーム会社概要>社名:株式会社アキュラホーム、代表取締役社長:宮沢俊哉、所在地:東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル34F、電話:03-6302-5001(代)、創業:1978(昭和53)年10月、資本金:9,314万円、従業員数:1,040名(2016年4月)、事業:建築工事・設計施工・販売、住宅総合研究・開発・コンサルティング

<ハウスロジコム会社概要>社名:株式会社ハウスロジコム、代表取締役社長:井草健二、所在地:東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル34F、事業:貨物利用運送事業 他 ホームページ:<http://www.house-logicom.co.jp>

株式会社ハウスロジコムは、革新的な価値ある物流の開発・提供を通じて日本の住まいづくりを変え、豊かな社会の実現に貢献すべく、2016年3月に設立しました。在来木造ジャストイン配送システムにより、工期短縮やコストダウン、品質の向上を提供します。今後は拠点の拡大を図り日本全国へと展開してまいります。